

1 実践の概要

テーマ	演習「クロスロード」 もしもの時、あなたはどの判断し行動するのか…
外部指導者	総合防災課危機管理・防災支援チーム 副主幹 三浦 涼太 氏
実施日時	令和6年7月9日（火） 午後1時25分から 3時15分まで
実施場所	鹿角市立尾去沢中学校
参加者	生徒34名 教職員13名

2 実践内容

講演や演習等の様子	1. 演習の進め方を聞く。 2. クロスロード問題についてグループで意見を出し合い、考えを共有する。 3. 各グループの考えを全体で共有する。  
-----------	---

3 参加者の感想

生徒	・クロスロードを体験して、いろんな考えや意見、考え方があったことが分かった。災害が起きた時のために、前もって問題になりそうなことを考えておくとういと思った。一つのあやまちで未来が変わるかもしれない中で判断することは大変だけれども大切だと分かった。 ・自分と違う考えの人の意見も受け止めて、納得することができた。普段の話合いにも今日のクロスロードを生かしたい。災害が起こった時に、自分ができる最善のことをしたいと思った。また、改めて家族で災害への対策を話し合いたい。
職員	・クロスロードで提示された状況が、自分事として捉えやすいものだったので、生徒たちは真剣に問題に向かうことができた。生徒の感想では「いろんな状況について考えることができた」「有事の際には多様な考えをもつ人がいるということを前提に冷静に判断し行動したい」というものがあり、自助、公助、共助の考えを演習を通して学ぶ貴重な機会となった。